FAQ回答

作製：小山高専交流ロボコン運営一同

**・ノーマルディスクはすべて同じ種類(形や色など)に統一しなければならないか**

→統一しなくてもかまわない。

**・ディスクは直径１００ｍｍを完全にオーバーしなくてはならないか**

→ディスクが完全な円形ではない場合、ディスクの内側に完全に入る円の直径を最小値、ディスクを完全に囲うことができる円の直径を最大値として扱う。この両方がルールで定められた下限、上限をクリアしていることが求められる。

　（図1の青色の部分がディスクである場合、**↔**が最小値、**↔**が最大値となる。）

 （図1）ディスクのサイズ測定方法

**・ディスクを展開してもいいか。その場合、展開の最大径が１００～２００になるようにしなければならないか**

→展開してもよい。展開する場合は、展開前、展開後ともにサイズ制限内に収めること。

**・ディスクは、真ん中にでかい穴をあけてもいいか**

→穴が外郭に接している、または穴が外郭に食い込んで切り欠きのようになっている場合は、図1のサイズ測定方法が適用される。（図2）

穴が外郭からは離れており、肉抜き穴のようになっているのであれば、サイズ測定上は穴がないものとすることができる。（図3）

 （図2）切り欠きとして認識される穴 　　（図3）測定時に無視できる穴

**・ディスクは輪投げのような形状でもいいか**

→穴があいているものと同様に扱われるが、発射時や着地時に変形してサイズ制限を逸脱する恐れがあるものは認められない。

**・輪ゴムはディスクとして認められるか**

→発射時や着地時に変形してサイズ制限を逸脱する恐れがあるため、針金等で変形がないように固定するなどの処置がなされていない限り、認められない。

**・不定形のディスクは認められるか**

→試合中の全時間を通してサイズ制限を逸脱しない場合に限り、認められる。

**・ディスクを重ねて良いか（連結して良いか）**

→装填後から着地後までの中で、連結が解除されている時間があれば認められる。

　装填前、装填時に連結されて試合終了まで連結状態を保つようなディスクなど、「連結しっぱなし」のディスクは、1つのディスクとして扱われる。

**・完全な円盤でなくて良いか**

→図1のサイズ測定方法が適用される。